



大好きだった幼稚園 いっぱい遊んだよ！

66年の歴史に幕、富岡第二幼稚園閉園

3月17日(木)、富岡第二幼稚園で閉園式が行われ、66年の園の歴史に幕を閉じました。式には14人の園児と保護者・地域の皆さんが参加し、別れを惜しみました。836人の卒園生を生んだ富岡第二幼稚園の66年の歴史を振り返ります。

富岡第二幼稚園の沿革

- 昭和31年4月 富岡村立富岡第二幼稚園として開園
- 昭和32年9月 富岡村が裾野町に合併したことに伴い裾野町立富岡第二幼稚園となる
- 昭和33年1月 下和田890番地に下和田区公民館兼幼稚園を設置
- 6月 ミルク給食開始
- 昭和40年1月 園舎改築（ベランダ付設）
- 昭和46年1月 市制施行により裾野市立富岡第二幼稚園と改名
- 昭和50年4月 4歳児就園（混合保育）
- 昭和51年3月 園庭に砂場設置
- 昭和59年3月 新園舎完成
- 平成10年8月 プレハブ園舎増築
- 平成13年4月 3歳児保育を実施
- 平成18年8月 富岡第二幼稚園PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受賞
- 平成21年8月 園庭改修、正門・クラス前に人工芝設置
- 令和4年3月 閉園式、66年の歴史に幕

豊かな自然と地域住民の愛情に恵まれた幼稚園

富岡第二幼稚園は昭和31年に開園し、昭和33年に現在の場所に公民館兼幼稚園として設置されました。『地域の子どもは地域で育てる』の言葉通り、保護者や地域の皆さんの温かい愛情に支えられ歩んできました。平成8年には呼子ニュータウンの販売が開始され、園児数も増加しましたが、その後は少子化などの社会情勢の影響を受け減少傾向に。令和3年度には園児数が14人となり、3月に10人が卒園しました。



新園舎に移る直前の旧園舎



富岡第二幼稚園新園舎完成（昭和59年3月15日）

閉園記念事業



昨年10月16日(土)に富岡第二小学校で行われた運動会に園児たちも参加、小学生や保護者のみなさんと一緒に風船飛ばしをしました。



親子紙切り教室の講師で招いた紙切り作家の水口千令さんに、PTAの皆さんが依頼し、閉園記念に切り絵を作っていただきました。幼稚園の園舎とともに、14人の園児と先生たちとの思い出がよみがえります。

日曜幼稚園が楽しみでした

閉園記念事業実行委員長 眞田 正昭さん

私が小学校に入る前、昭和30年にはまだ幼稚園はありませんでしたが、小学校が休校日の日曜日に午前中だけの『日曜幼稚園』があり、毎週楽しみにしていました。先生は富岡第二小学校の日直の先生が担当していました。歌を歌ったり、友だちと遊んだりするのがとても楽しかったです。

私たちの年代は、戦後ベビーブームの団塊の世代で、下和田区の同級生は29人と最も多かったです。現在のように人口減少、少子化が進む社会になるとは思いもしませんでした。富岡第二幼稚園が閉園となるのは残念ですが、園舎は今後も放課後児童室として活用されます。

いつの日か子どもたちの元気な声や遊ぶ姿が戻り、地域に活力を与えてくれる日が来ることを願っています。



日曜幼稚園が行われていた当時の富岡第二小学校



ししまる太鼓

富岡第二幼稚園の名物『ししまる太鼓』は、園のために地域の皆さんが太鼓などを用意してくれました。幼稚園での一番の思い出が『ししまる太鼓』という園児も多く、保護者や地域の皆さんも演奏を楽しみにしていました。

地域全体の温かい愛情に感謝

富岡第二幼稚園 園長 勝村 康幸

今まで多くの学校や幼稚園でお世話になりましたが、皆さんが地域全体で子どもたちを見守り、温かい愛情を持って接していただいたことに本当に感謝しています。

66年間で836人がこの園を巣立っていきました。園は閉園しますが、これからも子どもたちを見守りながら、子どもたちの持つ力を信じて、子どもたちの未来を応援していただきますようお願いします。